

本の紹介：楽しく走って自己タイム更新♪♪



『運動ができるようになる本4：かけっこがはやくなる!』
水口高志：監、ポプラ社：出
『3～10才のうちに!かけっこが速くなる1週間おうちレッスン』
野村朋子：監、主婦の友社：出
『トップアスリートが教えるスポーツのすすめ』
子どもスポーツ編集委員会：編、講談社：出
その他、関連する本は児童コーナー「スポーツ」の本棚と一般書架の16番(スポーツ)の本棚にあります。ぜひ読んでみてくださいね☆

夏休みも終わり、いよいよ運動会のシーズン。運動は苦手…と、ちょっとユウツになる人もいるかも!?
元オリンピック選手の為末大さんによると、めいっばい体を動かして楽しんだり、ふだんの歩き方や遊び方をちょっと変えるだけで、走る速さはずいぶん変わるんだとか。図書館には体を楽しく動かすための本があります。せっかくだから、楽しく走って自己タイム更新にレッツ・チャレンジ♪



としょかんカレンダー

ぬりつぶし：お休みです

9月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

・16日(敬老の日)、23日(秋分の日)は開館します。 ・14日(体育の日)は開館します。
・9/30~10/4は特別整理期間のため休館します。

開館時間
火～金曜日
9:30～19:00
土・日曜日、祝日
9:30～17:00

♪おはなし会 好評開催中♪
□ あんころもち(0歳) 火曜14時～
○ きびだんご(0～3歳) 第1・3水曜14時半～
● おはなし会(3歳以上) 土曜14時～



としょかん日記

今年も、夏休みの図書館には子どもたちでいっぱい。宿題や自由研究の本を探したり、DVDを観たり、好きな本を読んだり、勉強したり…みんな思い思いの時間を過ごしています。感想文の書き方講座や理科教室にもたくさん子どもたちが参加してくれました。
図書館での時間が夏休みの思い出のひとつになってくれたら、私たちスタッフは嬉しいかぎり。もうすぐ夏休みはおわってしましますが、図書館はいつでもみなさんをお待ちしています☆もちろん大人の方も! (Y)

かしましみんとしよかんだより
みんと
第142号
2013年 9月

今月のみんと

- ★ 読書感想文の書き方講座を3ヶ所で開催しました
- ★ 「小さな背中に力をもらい」
- ★ 特集：館外サービスの紹介
- ★ 新着本の紹介
- ★ 本の紹介：楽しく走って自己タイム更新♪♪
- ★ 9・10月の開館カレンダー

発行 かしま市民立薬修大学
鹿島市民図書館
〒849-1312
鹿島市大字納富分2700-1
Tel (0954) 63 - 4343
Fax (0954) 63 - 2217
ホームページ
http://www.library.city.kashima.saga.jp
<QRコード>
Eメール
kashimal@theia.ocn.ne.jp

読書感想文の書き方講座を3ヶ所で開催しました

今年は図書館に加えて北鹿島・七浦公民館でも開催したところ、3会場合わせて96人の小学生が参加してくれました。講師の熊森先生が読んでくださった「スイミー」に静かに聞き入る子どもたちのまなざし、「感想文の書き出し8つの作戦!」をレクチャーする野崎館長の話に一生懸命メモを取る姿、ブックトークでは笑い声があがったり、戦争の本ではちょっと考えこんだり……。子どもが真摯(しんし)に本と向き合う姿が印象深いイベントとなりました。(⇒3ページにも記事があります)



↑低学年の子どもたちは特に元気。笑いや歓声の絶えないにぎやかなブックトークでした☆(図書館)

「小さな背中に力をもらい」

その日は雷雨になるらしいと心配していました。今年初めて開催した、公民館での「読書感想文書き方講座」の日のことです。約300冊の本を持って行くので、本がぬれては困ると気がかりだったのです。図書館でここ数年やっていた講座を、今年は2カ所の公民館を加え3会場でやりました。この機会に色々な本に触れてもらうことがねらいで、前半は「書き方のコツや本の選び方」についての講座、後半はグループに分かれて本の紹介(ブックトーク)を聞き、実際に本を選ぶ、という企画です。
「やっぱりほとんどが鹿島小と明倫小ねえ。遠か小学校の子は車で送ってもらわんといけんもんねえ。」という会話をしたのは、去年のことでした。60名あまりの参加者のほとんどが近くの2校の小学生で、周辺の5小学校はわずかだったからです。今年はとにかくやってみよう、と、遠隔地の公民館を2カ所お借りして準備するものの、なにせ初めてのことであたふたしておりました。図書館開館日なので、公民館に行けるのは私も入れてたった3名。でも、講座もブックトークも、年齢別に分けないとちょっと難しい…そう悩んでいたなら「私も行っていいよ」と申し出て下さったのが、図書館での講座の講師をお願いしていた熊森先生でした。予算がないこちらの事情を承知の上でボランティア講師を引き受けて下さった先生、ありがとうございました。講座だけでなく、汗びっしょりになって2階の会場までいっしょに本を運んで下さったこと、数ヶ月前まで小学校の先生でいらしたキャリアをいかし、元気すぎる子どもをなだめながらブックトークの聞き手になって下さったこと、本当にありがたく思いました。

公民館からの帰り道、「戦争のテーマは借りられなかったけど、でも…」「人員配置が甘かった」等々、口々に反省を言い合っていた私たちの会話を止めたのは、車窓から見える2人の女の子の姿でした。ぱんぱんに本を入れた1つのブックバックの持ち手をふたりで分けて持ち、海沿いの道を歩いて家に向かう小さな後ろ姿…ありがとうね、来てくれて。

結局、あの女の子たちが家に着くであろう時間まで、雨は降らずにすみました。反省点もあるけれど、そして、公民館の受講者は決して多くはなかったけれど、小さな後ろ姿に力をもらい、来年もまたやります。

図書館長 野崎千代美



↑七浦公民館での講座の様子

事業所版「みにみに図書館」New!!

公民館に出張！読書感想文の書き方講座 New!

★特集★館外サービスの紹介



ふだんは忙しくてなかなか図書館へ来られない…という、仕事・家事・育児に忙しい働き盛りの世代に本を届けたい！今年度は、トライアル期間として(株)東亜工機へ毎月50冊、(株)祐徳薬品工業へ150冊のセットをお届けしています。ビジネスマナーや人材育成などの仕事に役立つ本のほか、料理やスポーツの本や小説なども取り揃えています。

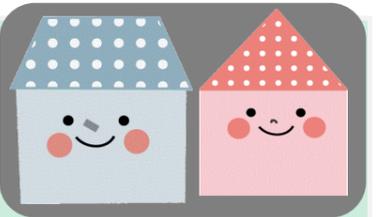


もっととおくに。いろいろなところへ。Go!Go!



いつでも、どこでも、だれにでも本や情報を届けることが、図書館の大切な役目です。市民図書館では、館内のサービスだけではなく「アウトリーチ（直接出かけてサービスする）事業」として図書館から遠い場所でのサービスも行っています。今年度は新たに「事業所向けみにみに図書館」と子ども向けの読書感想文の書き方講座の出張講座にチャレンジしました。

公民館は暮らしのまんなかにあるところ。子どもたちが歩いて来られる場所で開催したい！ということで、今年は図書館のほかに2つの公民館で出張講座を行いました。これまでほとんど応募のなかった七浦小学校や北鹿島小学校の子ども達からの応募があり、あらためてアウトリーチ・サービスの大切さを感じるイベントとなりました。



七浦公民館 北鹿島公民館



おとなりの保健センターでは…
ぶっくすくすく
(ブックスタート類似事業)



赤ちゃんとおとなの方がいっしょに絵本を読むことで、ゆっくりと心をふれあうひとときを持っていただきたい、という願いから始まった『ぶっくすくすく』。4カ月健診の会場で赤ちゃん一人ずつに絵本の読み聞かせをおこない、保護者の方には0才からの読み聞かせの楽しさをお伝えしています。平成20年にスタートして6年。これまで1,000組以上の赤ちゃんとおとなの方が参加してくれました。



平成20年に0才だった赤ちゃんが…



※福祉事務所・保険健康課・図書館の連携事業です。

市内の学校や様々な施設へ。 「みにみに図書館」

遠隔地の保育園、小・中学校、保健センター、すこやか教室などへセット貸出をしています。



各施設から
選書依頼も
受け付けて
います♪



みんな～
待ってね!!

暮らしの中にもひろがる読書がんです!!

新着本

その他『ホテルローヤル』(小説)、『図解 国会の楽しい見方』(政治)、『竹垣づくりのテクニック』(造園)、『ダイオウイカと深海の生物』(生物)、『世界の美しい透明な生き物』(写真集)など 色んなジャンルの本が入りました。

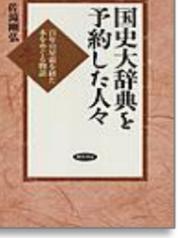
『爪と目』



藤野可織：著
新潮社：出
今年の芥川賞の受賞作品。純文学的ホラーです。母を亡くした3才の「わたし」、父の浮気相手だった継母と暮らしはじめて…。表題作のほかに「しょうこさんが忘れていたこと」他1編を収録。

小説

『国史大辞典を予約した人々』



佐滝剛弘：著
勁草書房：出
老舗旅館に眠っていた、明治41年に作られた国史大辞典の予約リスト。記された1万人近い人々と彼らが手に入れた辞書の行く末とは？テーマの切り口がユニークなのでどの章から読んでも楽しめます。

歴史

『気骨 経営者土光敏夫の戦い』



山岡淳一郎：著
平凡社：出
「財界の荒法師」「メザシの土光さん」と親しまれ、戦後の日本経済の成長に尽力した土光敏夫。人間味あるエピソードやリーダーとしての数々の決断など、ストーリー展開にぐいぐいひきこまれます。

伝記

『滝平二郎きりえ名作集 夏・秋編』



滝平二郎：編
朝日新聞出版：出
この表紙のカッコよさ！『モチモチの木』などで知られる滝平作品がまるでポップアートのよう。1970～78年の朝日新聞日曜版に掲載されたものの中から、選り抜きの作品を集めています。

美術

『柔道事故』



内田良：著
河出書房新社：出
29年間に118人の生徒が学校柔道で死亡しているという重い現実。子どもたちの命を守るための科学的な提言と、柔道が青少年スポーツとしてさらに発展してほしいという願いがこめられています。

スポーツ